

<オールインワン英文読解③⑧> 長文読解編 ⑩

① パラグラフリーディングとは

パラグラフリーディング[パラリー]とは、パラグラフ[=段落]ごとに意味を捉え、パラグラフ同士の関係を考えながら文章を読んでいくこと!

()と()がわかる! ← 設問で聞かれる!

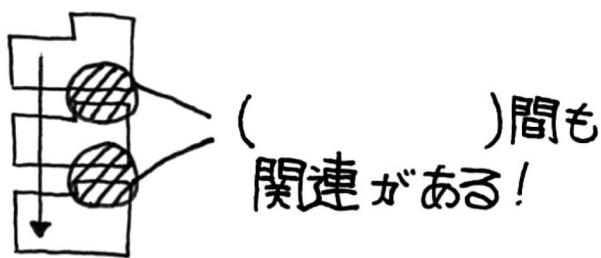
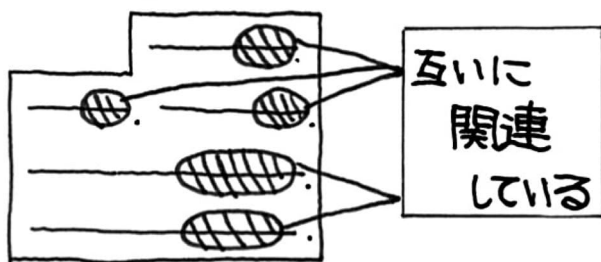
【ポイント: 長文読解の目的】

本文全体を通して筆者が扱おうとしている「テーマ」「トピック」と、そのテーマについての()をつかむこと!
→ 和訳はそのための()であり、「訳す」ことが目的ではない!!

② パラグラフを捉える基本

【ポイント: パラグラフの基本】

- ① 1つのパラグラフで「テーマ・トピック」は、原則として()!
- ② 1つのパラグラフの中で「筆者の主張」は原則として()!
- ③ 1つのパラグラフはそのパラグラフの「^と」を軸に互いに関連しあっている() [=]が結びついたモノ!



→ 1つのパラグラフを読むとき、一貫して述べられている()は何か、そのトピックについて()を考える。

英語のパラグラフは、一般に、()で「トピック・テーマ」を提示し、そのトピックについて、()を展開していく。

その展開パターンは大きく3パターンで、パターンごとに優先して読むべきところがある!

→ 共通では丁寧に展開を追っていたら時間が足らなくなるので、展開パターンを見極め、ザッと()ことを心がけ、細かいところは()でピンポイントにしとめていく!

③ パラグラフの展開パターン

① (): リード文 → 具体化 (抽象化) → 締め

→ 言っていることは基本的に同じなので、() を優先的にチェック!

② (): 時系列などで変遷しながら展開

→ (/ /) など 結論マーカークることも多く、結果の () が最も大切なので優先的にチェック!

(→ 過程の部分が聞かれることももちろんあるが、設問の指示に合わせて読み足せばOK)

③ (): 逆接で反転させてその後を展開

→ () など 逆接マーカークて、 $A \leftrightarrow B$ となり、() とその説明にあたる () を優先的にチェック!

③以外は、トップとラストあたりを読めば、おおよその内容はつかめる!

(問) 次の英文の強調点を考え、設問に答えよう。

① The feeling that Chikako has is called *déjà vu*, which is French for "already seen", and most of us have experienced it at some point in our lives. ② Some people choose to ignore it because the feeling of recalling a new experience seems unnatural. ③ *Déjà vu*, however, is not uncommon and has been the subject of scientific studies since the 19th century. ④ Many researchers today are starting to see the value in investigating *déjà vu*, and more than thirty possible theories have been offered to explain the phenomenon. (センター2013追)

① *Déjà vu* is a lot more common in France. []

② *Déjà vu* is considered a worthy topic for study.

③ More studies will be done to stop people feeling *déjà vu*.

④ People who have *déjà vu* tend to think about their own lives.

(解説)

まずザッとパラグラフを眺めると3文目に () があるので、パラグラフパターンの () に該当する。すると、重点的に読むのはこの () とそれを説明する () ! それ以外はサラッと読む。

①では、"The feeling that Chikako has is called déjà vu, which is French for "already seen",

→「チカコが持つ感情 = () で、それはフランス語で「意味する」となる。

※ A is B for C : 「AはCに対するB」→

"and most of us have experienced it at some point in our lives."

→「私たちの大半は、人生のどこかでそれ [=] を経験したことがある」

② "Some people choose to ignore it" 「それをムシする () 」
"because the feeling of recalling a new experience seems unnatural."

→「新しい経験を思い出す () 感情は不自然に思えるから」

③ "Déjà vu, however, is not uncommon and has been the subject of scientific studies since the 19th century."

[ポイント]

however はどの位置に来ても、() で訳す!

「(), デジャヴは (), 19世紀以来ずっと () だった」

この部分だけで答えは導けそうだが、一応4文目も見ると...

④ "Many researchers today are starting to see the value in investigating déjà vu, and..."

→「今日の多くの研究者はデジャヴを研究することに () 始めていて...」

"more than thirty possible theories have been offered to explain the phenomenon."

→ 「30以上の可能性ある学説が現象を説明するために提出されている、つまり、デジャヴはずっと研究のテーマで、研究する価値がある。てこと!

(設問の解説)

① Déjà vu a lot more common in France.

「デジャヴはフランスでは()」

→ 1文目に "French" があるが、別にデジャヴはフランスに限った話ではないし、そもそも()についての文なので X

② Déjà vu is considered a worthy topic for study.

「デジャヴは()だと考えられている」

→ パラグラフの強調点である3文目と4文目の内容とドンピシャで、3文目の subject は()に、4文目の value は()にそれぞれ言い換えられている! ほぼ②が正解かなと思いつつ、③・④へ...

③ More studies will be done to stop people feeling déjà vu.

「()のために、より多くの研究がされるだろう」

→ "研究" についての記載はあるが、"to stop people feeling déjà vu" の部分は記載がないので、X

④ People who have déjà vu tend to think about their own lives.

「デジャヴを持つ人々は、()について考える傾向がある」

→ それっぽいことを書いてあるが、このようなことは一切本文に書いていないので X よって正解は()となる。

[ポイント]

正解の選択肢	→ 本文該当箇所の()	← 語句・構文など
不正解の選択肢	→ " ()	← 肯定と否定など

4 ディスコース・マーカー

① 逆接マーカー: 「└┐

()/()/()/()/()
()/()

→ マーカーの後ろの()に力点が置かれる。マーカーの前のAを導き出す()マーカー(⑧)もセットで!

② 追加マーカー: 「└┐

()/()/()/()/()/
()/()/()/()
()・()・():

→ Aという情報に対してBという情報を()的に述べる。

③ 言い換えマーカー: 「└┐

()/()/()/()/()/
()・()・():

→ このマーカーは前のことをよりわかりやすく言い換える[└┐]ときに用いられる。マーカーの後ろのBをしっかり読めば文脈が理解しやすくなる!

④ 例示マーカー: 「└┐

()/()/()/()/()

→ ③の言い換えマーカーは同じ内容を違う言い方で述べるものだが、この例示マーカーは、ある事柄Aを提示したあとで、()を挙げるためのマーカー。Aで内容を理解できていればBは軽く読み流すことができるし、AがよくわからなかったらBを読んでAの意味を把握できる!

⑤ 結論・結果マーカー: 「└┐

()/()/()/()/()/
()/()/()/()/
()/()

→ マーカーの前のAが「理由・原因」で、マーカーの後ろのBが「結論・結果」になる。()に力点が置かれる。

2. []

) / (

)(

→ ⑤の結論・結果マーカーとは逆になることに注意!

1. []

)/(

) /

1/1

) /

)

→①の逆接マーカーとは少し違て、マーカーの後ろのBに力点が置かれている()、2つの事柄を対比させて、()が重要になる場合に使われる。

—

) /

)/(

)

$$)/($$

)

→①の逆接マーカ―と()的に用いられて、逆接マーカ―の後ろのBを()働きがある。Aは「前ふり」なので、「軽く」読み流す。